



映画監督・実相寺昭雄氏手書資料が
須賀川特撮アーカイブセンターに
寄贈されましたので、
その資料を公開します。

令和8年7月2日

<問い合わせ先>

担当：須賀川特撮アーカイブセンター 大野

直通電話：0248-94-5200

Eメール：tokusatsu@city.sukagawa.fukushima.jp

報道機関各位

このたび、須賀川特撮アーカイブセンターに映画監督・実相寺昭雄氏の手書資料が寄贈されました。当該資料は、実相寺氏が須賀川市出身・円谷英二監督の生涯をテーマに起案した小説のあらましを記したものとなっています。この貴重な資料の寄贈を受け、当該資料を須賀川特撮アーカイブセンター館内にて公開します。ついては、記事掲載・取材の程お願いいたします。

1 寄贈資料の概要

- ・資料名称：実相寺昭雄手書原稿「小説 円谷英二」企画梗概
- ・点 数：原稿用紙5枚分
- ・寄贈時期：令和8年6月

当該資料は、実相寺昭雄氏が須賀川市出身で「特撮の神様」として知られる円谷英二監督の生涯をテーマとした小説（未実現企画）のあらましを記した手書原稿です。当該資料は筑摩書房での出版を企図して執筆されたものであり、同社で実相寺氏の担当編集を務めた青木真次氏から、須賀川市の特撮文化研究に寄与したいとの意向により本市に寄贈されました。執筆時期は平成4（1992）～平成5（1993）年ごろのものです。

■実相寺昭雄氏 略歴

昭和12（1937）年東京生まれ、中国・青島で育つ。早稲田大学卒業後にTBSに入社、テレビ演出部を経て映画部に転属、円谷プロダクションへ出向する。円谷プロダクションでは『ウルトラマン』（1966～67年）で第15話「恐怖の宇宙線」（二次元怪獣ガヴァドン(A)・(B)登場回）、第23話「故郷は地球」（棲星怪獣ジャミラ登場回）をはじめとする6エピソードの監督を務め、続く『ウルトラセブン』（1967～68年）でも第8話「狙われた街」（幻覚宇宙人メトロン星人登場回）をはじめとする4エピソードで監督を務めている。また、ドキュメンタリー番組『現代の主演 ウルトラQのおやじ』（1966年）では円谷英二監督に密着した独特な映像を残している。

その後、フリーへ転向し、昭和45（1970）年に映像制作会社「コダイグループ」を設立する。映画『帝都物語』（1988年）で監督を務めるほか、映画や舞台、オペラ作品、文筆業など多様な分野で活動を展開。小説『星の林に月の舟』（1987年）をはじめ、円谷プロダクションでの作品制作をテーマとした小説・エッセイも複数執筆している。平成18（2006）年没。享年69。

2 寄贈資料の公開

- ・目 的：映画監督・実相寺昭雄氏手書による円谷英二監督の小説梗概という貴重な資料が市に寄贈されたことから、当該資料を一般に公開する機会を設けることとする。また、円谷英二監督の誕生日である「特撮の日」（日本記念日協会登録）7月7日からの公開とし、円谷監督・実相寺監督ふたりの業績を周知、顕彰することを目的とする。
- ・期 間：令和8年7月7日（火）～8月31日（金）午前9時～午後5時
- ・場 所：須賀川特撮アーカイブセンター 1階図書室（〒962-0302 須賀川市柱田字中地前22）
- ・料 金：無料
- ・休館日：毎週火曜・水曜（祝日の場合は翌平日）
- ・詳細は添付チラシ、下記ホームページもご確認ください。

<https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/tokusatsu/oshirase/9490.html>